#### お 知 せ

# ◆遠藤周作の新刊(ムック)

増補新版『文藝別冊 遠藤周作』 河出書房新社 3月11日発売

き重要性を感じさせる。 文を超え、遠藤文学の原点ともいうべ 新規収録。その鮮烈な内容は単なる恋 エッセイ、インタビュー等満載。 フランス留学時代の恋人への手紙を 予価1300円+税 他日記、対談、

## ▶遠藤周作没後20年&

鼎談と朗読「遠藤周作•若き日の恋文. 町田市民文学館開館10年記念 3月19日 (土) 14時~15時半

朗読 会場 町田市民文学館2階大会議室 音楽座 加藤宗哉・福田耕介・今井真理

内容 申込方法 2月21日より町田イベント 簡の翻訳者である福田氏と、解説を の刊行記念。若き日の遠藤周作につ にお申込ください。 ダイヤル (042・724・5656) 音楽座の俳優さんによる朗読もある。 執筆した今井氏に聞く。鼎談の他に いて、周作クラブ幹事の加藤氏が書 河出書房新社「別冊遠藤周作

## ◆遠藤周作没後20年記念

①『深い河』を読む(2回)

朝日カルチャーセンター特別講座

講師 加藤宗哉

②歴史小説を読む 4月13日 (水) 27日 ともに13時~15時 『沈黙』他 永 (2回)

会

費

03-3238-0338

5月30日 (月) 6月13日 高橋千劔破

※受講料は<br />
①<br />
②<br />
それぞれ、 費税を含む)。 員6048円、 ともに13時~15時 一般7344円 (消 朝カル会

朝日カルチャーセンター新宿 新宿区西新宿2の6の1新宿 住友ビル

03-3344-1945 新宿駅西口から徒歩8分

※申込方法 お電話でご予約くださ します。 い。折り返し払込用紙をお送りいた

# ◆周作クラブ・文学セミナー

ついて語ります。 のためのセミナーです。今回は、高橋 千劔破幹事が九州・大分と遠藤文学に 5月に行われる「遠藤文学原点の旅

4月16日 (土) 15時から 日本ペンクラブ会議室 地下鉄「茅場町」下車4分

会

※事前の申込は必要ありません。なお 終了後に懇親会も予定しています。

#### ◆サロン・ド・遠藤周作の世界 3 月 26 日 (土) 15時~

日

時

6/8、7/13、8/3(水)

ゲスト ※かつての遠藤担当編集者として、 思い出等を語ってもらいます。 太田美穂(河出書房新社) シェアオフィス六番町 JR・地下鉄 東京都千代田区六番町5-5 四谷駅徒歩5分

場

月 申込先

① 主 ◆①東京 ②名古屋 の遠藤文学の講座 ③ 岡 山 (講師・山根道公) ④ 広島で (倉田

風編集室 086-227-5665

場

所

幼きイエス会

03-3261-0825 (四谷駅麹町口前

講座名 遠藤周作と長崎― から『女の一生』へ 『沈黙

時 15時20分~16時50分 4~7月、第2日曜日

日

② 主 催 栄中日文化センター

所 名古屋市中区栄4-1-1 052-263-711

場

講座名 中心に 没後20年 中日ビル4F - 『沈黙』と『深い河』を 遠藤周作の世界

時 4~9月、 第2月曜日13時

日

#### 催 生涯学習センター ノートルダム清心女子大学

③ 主

岡山駅西口徒歩10分 **1**086-252-7045

講場 場名 所 遠藤周作と長崎―『沈黙』 から『女の一生』へ

#### 催 NHK文化センター広島 14時45分~16時15分

**④ ±** 

講場座名 所 遠藤周作と長崎―『沈黙 082-242-1151 八丁堀駅 徒歩7分

時 5、7、9月、第1土曜日 から『女の一生』へ 15時半~17時半

日

※詳細・問合せ・申込は主催へ。

090-4529-5402

## ※編集後記 ※

先生は第12代日本ペンクラブの会長です。 先生のお宅におじゃましていました。 尾崎 がお亡くなりになったとき、私は尾崎秀樹 因みに遠藤先生は第10代会長です。 んですね。まさに光陰矢の如しです。先生 ▼遠藤先生が亡くなられて、20年も経った

した。一九九六年九月二十九日、亡くなら ス。びっくりして、慶応病院に駆けつけま の慶応病院で亡くなりました」というニュー ら、「つい先ほど、遠藤周作さんが入院先 れたのは午後6時36分です。 ▼夕食を御馳走になり、テレビを見ていた

ナチオ教会で通夜(前夜祭)。2日の午後 お別れに訪れ、長い行列ができました。 1時から告別式でしたが、4千人もの人が 10月1日午後7時から、東京四谷の聖イグ に関係者が集まり、打合せです。次の日、 ▼翌30日は月曜日でしたが、午後は遠藤家

事役をつとめたこともあって、 晩年の先生 と色濃くお付き合いさせていただきました。 行きました。 劇団 「樹座」 や宇宙棋院の幹 いずれ書きたいと思います。 い出されます。先生と何度となく旅行にも ▼そんなことが、つい昨日のことのように思

### 「周作クラブ」第62号 2016年2月発行

■発 行人 加賀 乙彦

■副編集人 田村百合子 ■編 集 人 高橋千劔破

■この号の編集者

岡田厚美、一田佳希、大原雄

■ 発 行 TELO80-1097-1979 所 加藤宗哉事務所内「周作クラブ東京都世田谷区上馬4-29 - 17近藤恭弘、高木香織、南紀洋子

●次回の会報発行は6月の予定です。 FAX03-3421-1521